

行政自治会だより

第7号

■発行所／古河市行政自治会

事務局 TEL 0280-92-3113

■発行人／会長 天笠順弘

市民総ぐるみ清掃開催



上段左より：第19地区(小立野第二行政区)、第12地区(駒羽根住宅団地行政区)、第3地区(下山一丁目自治会)
下段左より：第12地区(駒羽根行政区)、第14地区(柳橋行政区)、第5地区(コミュニティセンターなかよこ)

5月19日(日)、風薫る五月晴れのもと、古河市民総ぐるみ清掃活動が行われました。この清掃活動は、ゴミの散乱しないきれいな街を、地域住民自らで創り上げる事を目的に、古河市内の20地区行政自治会(227自治会及び行政区)により、年2回(春・秋)行われている清掃活動です。

今回の市民総ぐるみ清掃では、およそ4万人の市民が参加、道路敷きの清掃、雑草の除去、コサ刈り、空き缶・空き瓶、その他路上に散乱しているゴミの回収、側溝内(国・県道及び蓋のある側溝は除く)の清掃などに汗を流してありました。

(広報委員 坂本廣次)

目次

- P1 市民総ぐるみ清掃開催
- P2 自治会長・行政区長委嘱状交付式及び感謝状贈呈式
正副地区長会議報告
感謝のメッセージをいただきました
- P3 地区紹介(第16地区)
- P4 市内歴史散歩(第6回)

自治会長・行政区長委嘱状交付式及び感謝状贈呈式

4月11日、とねミドリ館において、今年度変更となった自治会長・行政区長と正副地区長の委嘱状交付式が行われ、市長から委嘱状が手渡されました。続いて感謝状贈呈式が行われ、贈呈者6名を代表

し、下尾崎二行政区の小菅一男氏が謝辞を述べられました。長い間、ありがとうございました。

平成25年度 感謝状贈呈者			
地区	自治会・行政区名	氏名	通算年数
第1	西杉並町	木下 由勇	18年
第1	西代官町	渡邊 治勇	13年
第9	東泉町	谷田部 克己	4年
第14	下大野	塚田 利昭	4年
第16	上片田宮前	間瀬 佳嗣	17年
第20	下尾崎二	小菅 一男	5年

(敬称略 順不同)



代表者に委嘱状が交付されました

正副地区長会議報告 ～役員が決まりました～

4月11日に第1回正副地区長会議がとねミドリ館で行われ、行政自治会の新役員が決定されました。

第2回正副地区長会議は5月13日に総和庁舎で開催され、新年度の事業計画や予算について協議し、承認されました。

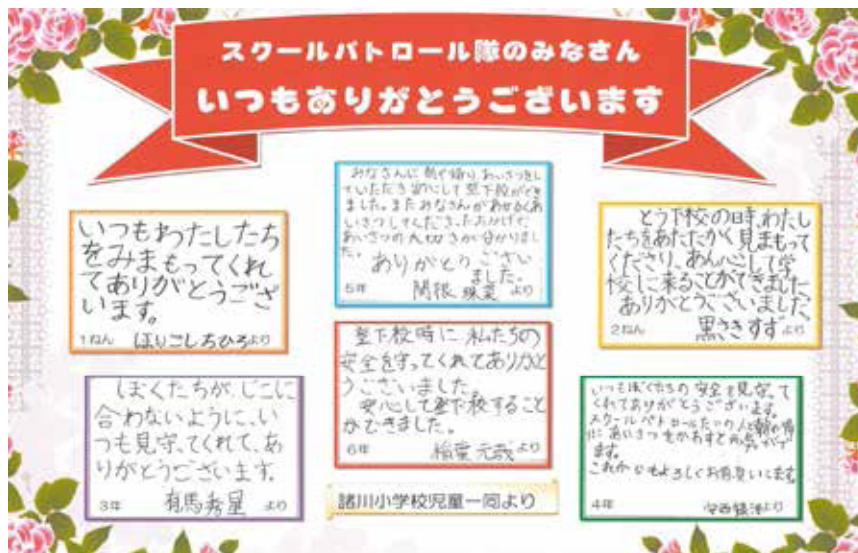
役員名簿及び正副地区長名簿については、下記のとおりです。

役員名簿

役職名	氏名	地区
会長	天笠 順弘	第18
副会長	渡邊 源次郎	第6
副会長	五月女 光男	第13
理事	鈴木 昇	第1
理事	舟橋 健夫	第9
理事	関 義夫	第16
会計	多々羅 絡	第20
監事	多並 栄吉	第4
監事	仲山 初男	第12

正副地区長名簿

地区名	地区長	副地区長
第1	鈴木 昇(長谷町)	小堀 英男(桜町)
第2	橋野 靖(八幡町)	綿引 正衛(原)
第3	横山 泰男(下山一丁目)	針谷 勇(旭)
第4	多並 栄吉(大山四丁目)	生方 隆雄(中田一丁目)
第5	伊藤 利彦(松原町)	針谷 征四郎(裏新町)
第6	渡邊 源次郎(雷電二丁目)	鈴木 國雄(静町)
第7	有明 三郎(赤松町)	渡邊 一雄(新久田三丁目)
第8	倉持 健一(稲宮)	植松 悦男(関戸)
第9	舟橋 健夫(八幡町)	久松 明夫(東泉町)
第10	森田 昭二(女沼)	三田 行男(上辺見)
第11	小梶 泰男(上辺見南町)	岡安 光雄(下辺見)
第12	仲山 初男(駒羽根住宅団地)	大熊 勝美(釈迦)
第13	五月女 光男(内水海)	大久保 浩之(高野)
第14	鈴木 勲(久能)	小菅 豊(葛生)
第15	那須 和弥(諸川西部)	鈴木 榮治(東諸川)
第16	関 義夫(駒込)	山中 貞夫(上和田)
第17	白澤 一夫(新和田)	椎名 卓(下片田)
第18	天笠 順弘(宿)	松永 猛(仁連上町五)
第19	湯本 豊(小立野第二)	久保 猛(長左工門新田)
第20	多々羅 絡(下尾崎一)	染野 則夫(下内)



感謝のメッセージをいただきました ～第15地区～

第15地区では、地元の諸川小学校の児童の登下校時の安全確保を目的に、「スクールパトロール隊」を結成し、毎日活動しております。

先日、児童の皆さんより感謝のメッセージをいただきました。私達の活動が、感謝されていると知り、うれしく思います。これを励みに今後も、活動を継続してまいります。

(第15地区 地区長 那須和弥)

地区紹介（第6回） ～第16地区～

第16地区は平成17年9月の新生古河市発足後、駒込小学校区による5行政区で平成20年4月にスタートいたしました。

当地区は、5行政区（上根、上和田、駒込、上片田、上片田宮前）で構成されており、現在約870世帯、2500人が加入しております。

地区の範囲は、東は西仁連川で結城市と接し、西は総和地区との境、南は三和北中学校の北側付近、北は栃木県との県境となっております。地区の西側を南北に国道4号線（新4号バイパス）、中央に新宿新田総和線が走っており、中央に駒込小学校がある田園地帯です。

当地区の活動状況ですが、地区長一致で地域のコミュニティ団体手のひらの会と協力して、桜まつり、敬老の集い（功労感謝の会）、夏まつり、手のひらまつり、クリーン作戦（新4号線添の脇を地区全部でゴミ拾いを実施）等を行って地域の交流をはかっております。

地域活動事業では、各行政区におはやし会、子供会、老人会がありそれぞれに活動しています。消防団員は地区に17名あり、火災出動、防火水槽、消火栓の点検や夜警等また、今年は操法大会出場にむけて訓練を行っております。また、小学校単位のパトロール、登下校時の見守り隊があり、通学時の安全をはかっております。清掃活動も地域において公園の掃除や管理、ゴミ掃除を行い環境美化に努めています。

また当地区で活動しているコミュニティ団体に小学生を中心とした和太鼓チームと、その保護者で構成しているエイサーチームで作っている「駒鼓恋こまこれん」という団体があり地域のいろいろな行



駒鼓恋(こまこれん)



敬老の集い(功労感謝の会)

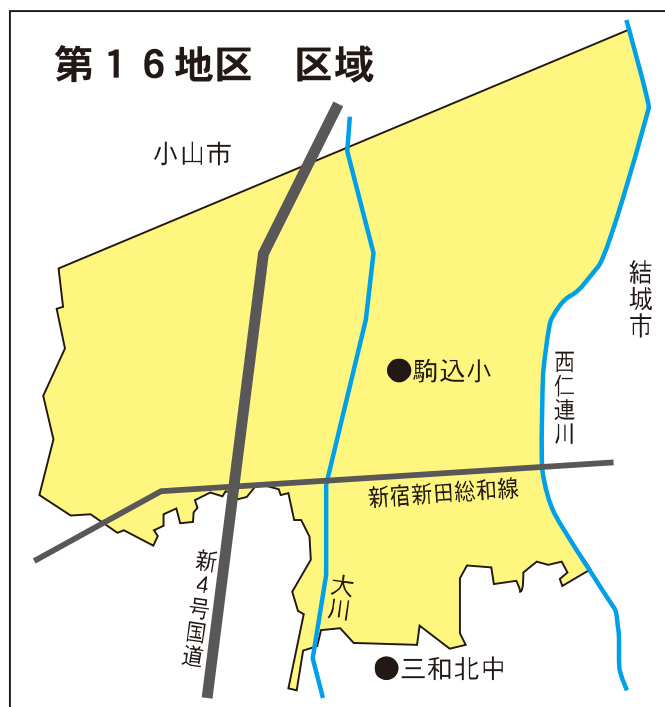
事やイベントに参加し、地域を盛り上げてくれています。地域の中で喜ばれており、また地域の活性化を計って来ています。方々で活動しておりますので、見かけましたら応援して下さい。

今後の課題としましては、消防団員の確保、消防団や地域の人々の協力を得て、防災活動に力を入れ、災害時に迅速に対応するため研修や防災訓練を実施する予定です。

コミュニティ活動を通し、地域の絆、防災意識が深まるよう、今後も老人会、子供会、関係諸団体の皆様の意見を伺いながら、よりよい町づくり、地域づくりを推進してまいります。

以上で第16地区の紹介といたします。

(第16地区 地区長 関義夫)



市内歴史散歩（第6回）

～ 古河城主土井利勝と正定寺 ～

「土井の殿様八万石よ、古河は名高い城下の町よ」と古河甚句にも唄われていますが、正に古河は土井家の城下町でした。

寛永10年（1633）4月、人事異動に伴う大名の所替が行われて、佐倉から古河には幕閣の大物土井利勝（61歳）が入りました。

これは、江戸にも近く幕閣として格好の封地であるだけでなく日光社参の將軍宿城の一つとして、急に脚光を浴びてきた古河城を土井利勝をして改造させたいという將軍家光の意向があったのではないのでしょうか。

土井家の始祖は、外ならぬ利勝その人です。利勝は表向きは土居利昌の子となっています。母は葉佐田則勝なる者の娘であったといわれています。しかし、実父については、家康の母の兄、水野信元説と徳川家康説があります。利勝の大名としての出発は、下総小見川一万石でしたが、やがて佐倉に移り老中となって「凡 国家の政事あづかりきかずといふことなし」という重用のされ方で、知行高は14万2千石にまでなっていたのを、いままた古河16万石余となり、5年後には僚友酒井忠勝と共に大老職に昇る破格の出世をしています。家康の実子説の可能性は十分にあるのではないのでしょうか。

利勝は入封の翌年1月に古河城の修造に取り掛り12月に天守に相当する御三階櫓が完成をみて、各郭の整備で近世古河城が完成しました。また、寛永13年（1636）には、古街道沿いに散在していた原村の住民を、日光街道筋に集め住まわせ原町としたことや、その後、同19年に古河公方ゆかりの八幡神社を移し、これに伴い八幡町がつくられて、古河宿城下が、今日の姿に成りました。

浄土宗正定寺は、利勝が寛永10年に、古河正定寺を菩提寺として開基しています。正定寺の開山は、先に下大野正定寺の随波のもとにいて、随波の没後古河の了正寺に引退中であつた当譽玄哲上人であります。玄哲上人と利勝との出会いは、寛永3年（1626）9月、將軍家忠夫人が薨去され、増上寺での御葬儀の折に、法縁がありました。後、佐倉時代でも將軍家法会等で、不思議な因縁もあり、古河城主となった利勝は、玄哲上人に深く帰依していきました。古河正定寺開基以前は、下大野正定寺が土井家位牌所で菩提寺でもありました。諸格式は古河正定寺同前と仰付あり、利勝没後2代利隆によって、両寺の諸堂が完成されました。

しかし、大老となった利勝は、翌年の元旦に江戸城へ登城し將軍家から盃を頂いた時に、「にはかに中風」となり、助けられて退出しました。なお、数年の間、古河城や江戸で療養に努めつつ大老職にありましたが、中風が再発して72歳をもって原屋敷で没し、寛永の三輔とか三代の將軍に仕えた名相と称えられる栄光の生涯を閉じました。

（北新町自治会 田嶋幸男）



編集後記

5月の市民総ぐるみ清掃には、多くのみなさんが参加され、街がきれいになり、すがすがしい気分になりました。特に、古河地区では「日本一きれいな街づくり」をモットーに、合併前から年4回の総ぐるみ清掃を自治会ごと、推進協議会を中心とした花壇づくり、フラワーボックスの設置など環境美化に努めてまいりました。

各地区や自治会・行政区でもどうぞ引き続き環境美化にご協力下さいますようお願いいたします。

（広報委員長 伊藤利彦）

行政自治会広報委員会

委員長

伊藤利彦

委員

鈴木國雄 横山泰男 荻谷武士

坂本廣次 森田昭二 菅原和美

那須和弥 湯本 豊 関 義夫